

津屋崎人形を 10人に プレゼント!



↑人形師 原田 彪さん Takeshi Harada

初代半兵衛より代々「半」の字を襲名し、現在6代目の原田半蔵人形店の津屋崎人形。二枚型で作るので、単純な人形の型が多く、彩色は原色を用い明るい人形が多いのが特徴です。土地柄海に関した人形から始まり、雛人形、節句人形、干支人形、もま笛など種類が多くあります。

原田半蔵人形店 ☎ 52・0432



応募方法

- ◎15ページのはがきに住所、氏名（ペンネーム・イニシャルは必要ありません）、電話番号を必ず記入の上、裏面に「津屋崎人形希望」と必ず明記して、市についてのご意見を添えて、50円切手を貼って応募してください。
- ◎応募多数の場合は厳正な抽選を行い、当選者を決定します。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます（広報誌などに当選者の掲載はしません）。なお、人形は選べません。

締切 1月20日（金）当日消印有効
問い合わせ 市広報秘書課（福岡庁舎） ☎ 43・8113



↑人形師 原田 誠さん Makoto Harada

230年以上の歴史がある筑前津屋崎人形巧房の津屋崎人形。類のない独特の鮮やかな色彩と他の人形には見出すことができない素朴さと温かみを持っています。福岡県知事指定特産民芸品にも指定されています。現在7代目になりますが、この伝統を失することなく保存し、また新しい物を生み出し続けています。

筑前津屋崎人形巧房 ☎ 52・0419

平成24年元旦 福津市長 小山 達生

新 年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はわが国にとって大変苦しい年でありました。3月11日に発生した東日本大震災による、地震・津波・原発の被害により日本全体が大きな痛手を受けました。被災地の復旧・復興が進んでおりますが、原発の風評被害なども含めさまざまな問題が山積しております。

日本の復興のため、福津市でも電力不足などの問題に取り組まなければなりません。

本市では、JR福岡駅の東側地域で、国道3号との間に土地区画整理事業が施行され、計画人口6500人、戸数2180戸の新しいまちの形成が進み、イオンモールも春にはオープンする予定で本市の未来に明るい兆しが見え始めました。

今年が、漂う黒雲から一筋の光がさすようなきっかけの年となるように、市民の皆さまとともに歩む必要があります。

職員一同気を引き締め、全力で取り組んでまいりますので、本年も皆さまの変わらぬご協力をお願いいたします。

最後に、新しい年が皆さまにとりまして、よい年となりますように心からお祈りいたします。そして、新年のごあいさつとさせていただきます。